

特集

但馬の未来をデザインする

# TAJIMA Design

## おおやアート村構想

養父市

“アート”を活かしたまちづくりへの挑戦

# 「アート村」でまちを元気に楽しく 芸術をテーマに新しいまちづくり



今年で18回を数える「木彫フォークアート・おおや」。全国各地から多くの木彫作品が寄せられる。9月23日(金・祝)～10月10日(月・祝)まで、おおやホール(養父市大屋町山路)で開催。(問)事務局 079-669-0120



木彫フォークアート・おおや  
第17回グランプリ受賞作品「忘れもの」  
清水一哉 作

### 芸術が集うまち「おおや」

「まちをアートで楽しく」。現在、養父市では定住人口3万人、観光交流人口150万人のプロジェクトのひとつとして、「おおやアート村構想」が進行している。

養父市大屋地域といえは、但馬の中でも多くの芸術作家が移住し、創作活動をしている場所として知る人も多しはず。平成6年から始まった「木彫フォークアート」は各地から木彫作品が集まり、全国で名が知られる展示会となった。

作家のジャンルも多彩。但馬木彫の第一人者である松田一蔵氏を始め、木彫、木工、書、絵画、陶芸など、実に幅広い。平成8年からは地元の家たちが資金を出し合い、グループ展「うちげえのアートおおや」を開催。「ふるさと交流の家・いろり」や「木彫展示館」などに約400点の作品を展示し、今では夏の風物詩として約1500人ものファンが訪れている。

## 第1回 養父市の四季 フォトコンテスト 2011夏▶秋



- 撮影期間 7月1日～11月30日
- 応募締切 1月12日(2012年)

観光協会長賞	1点	賞状・賞金	50,000円
市長賞	1点	賞状・賞金	30,000円
入選	5点	賞状・賞金	5,000円

あなたが養父市内で撮った「夏から秋」の作品をお寄せください

作品募集中

カメラを持って養父市に出かけよう!

やぶ市観光協会

やぶ市観光協会

検索

TEL.079-664-1555 <http://www.yabu-kankou.jp/>

※応募方法はホームページまたは、専用応募パンフレットでご確認ください



養父神社



氷ノ山

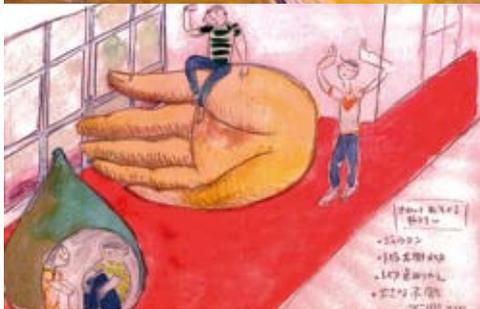


天滝

秋の  
オススメ  
スポット



木彫家・松田一蔵氏の木彫作品『まねき猫』をモチーフにした「おおやアート村 BIG LABO」のロゴデザイン。猫は養蚕農家にとってねずみから蚕を守る大切な動物であり、養蚕業が盛んだった養父市のイメージに合わせた愛らしいキャラクターになっている。



アート村の拠点施設となる旧八鹿高校大屋校「おおやアート村 BIG LABO」のイメージ図。

さらには、中3階建ての養蚕住宅を改修した民間ギャラリー「分散ギャラリー 養蚕農家」がオープンするなど、この町には引き寄せられるように芸術資源が集まっている。

「アート」と「田舎」をテーマにした新しいまちづくりのカタチ。大屋地域がアートを核のようにデザインされていくのか、その構想を聞いた。

## 「アート村」とは？

「どんな時代がきても、芸術つてなかならないものだと思うんですよ。芸術には人の心を癒したり、楽しくさせたりする力があります。無心になれるところが魅力ですね」とは、おおやアート村協議会の事務局長を務める田中今子さん。自然の大切さを謳う作品を発表し続ける現役の絵

作家で、彼女もまた、大屋の素朴な自然に魅せられて「ターン」してきた芸術家のひとりだ。

「豊かな自然があることはもちろんですが、幹線道路が通らない大屋つて、異空間の場所という感じがします。創作活動に没頭する場所としては最適ですね。そうした環境が芸術家の輪をつないでいったと思います」と、田中さんは大屋の魅力を話す。

多彩な芸術家、10年を超えるアートイベント、公募展による木彫作品の収蔵は100点に達した。市民が地道に積み上げてきた町の宝を、そのまま眠らせておくのはもったいない。そんな気持ちが誰いとうとなく、沸々とわき上がっていた。

人・モノ・イベント・情報といった芸術資源が集積される中、「芸術をテーマにした町おこしができないか」という計画が持ち上がる。平成21年、養父市は商工会、但馬県民局、鳥取大学、そして芸術関係者らと協力して、調査・検討を行い、企画提案書を作成。翌年には官民が連携して、「おおやアート村協議会」を発足させ、構想プランをまとめた。

おおやアート村が目指すものは、1、暮らしとアートが融和して、元気で、楽しいまちをつくること。

2、未来をつくる子どもたちにアートの楽しさや可能性を伝えること。

3、アートを取り入れたツーリズムの創造や芸術家の移住などを促進し、都市と農村との交流を盛んにし、にぎわうまちをつくること。

4、大屋の豊かな自然資源や農林産物などの資源を見直し、さらに価値のある資源として活用すること

の4点。いつでも気軽に楽しく芸術にふれあい、体感し、人との交流が増えることをコンセプトにしている。芸術家だけでなく、みんなでアート村をつくり育てていくことを掲げている。

「一部の芸術家だけの施設をつくっても、町にとっては使えない場所です。大屋なら暮らしとアートがうちとける土台がもうすでにできあがっています。アートをきっかけとして、みんなで町を元気にしたいですね」と田中さんはいう。

## 廃校を活動の拠点に

但馬でも例のない挑戦として動き始めた「おおやアート村構想」。今年からは市民や観光客へのアート体験の提供、情報発信、イメージづくり、海外アーティストの交流などの取り組みに向けて、より具体的に検討していく予定だ。さらに活動拠点として、平

**若杉高原サマーゲレンデ**  
キャンプや宿泊もできる！

新設のエアマット「BAG JUMP」  
一足先にシーズンin！  
雪がなくても滑って飛べる！

天滝に登って  
若杉高原温泉へ

<http://www.ooya-ski.jp>

兵庫県養父市大屋町若杉 99-2  
(問) 若杉高原開発企業組合 TEL.079-669-1576 (営) 土日祝 (13~19時)

**AYU PARK**  
**あゆ公園**  
OOYA AYU PARK

手作りバイク開催中！ 大人 980円 小人 490円

バイク受付時間  
11:00~13:30

季節に応じた  
月替わりメニュー  
がいっぱい！

〒667-0315 養父市大屋町加保582  
TEL.079-669-1822 FAX.079-669-1571  
あゆ公園 レストラン「プレコグロス」 ◆ 定休日/水曜  
◆ 営業時間/11:00~17:30 (オーダーストップ17:00)

至鳥取 道の駅 ようか但馬蔵 南但馬トンネル  
琴弾トンネル 大屋川 至豊岡 至和田山 至明延



但馬理想の都の祭典20周年(2014年)へ向けて、「但馬を盛り上げよう」と頑張っている“但馬人”を紹介!!

「但馬・理想の都の祭典」って?

平成6年(1994)に但馬全域で展開された、「但馬理想の都の祭典」。約1年間にわたり、「人・海・森・里・空」をアピールする5つの文化展を始め、300を超える多彩なイベントが開催されました。但馬を訪れた観光客は約1,300万人、但馬内での地域間交流も増え、但馬人が「但馬」を見直すきっかけとなりました。



歴史文化を紹介した「大但馬展」 但馬空港開港を記念した「空の文化展」

20周年に向けてキャンペーン事業を展開!!

現在、祭典から20年目を迎える平成26年を「但馬再生」の節目として、新たな可能性に挑戦する記念事業の企画・準備が進められています。昨年「ないものねだり」ではなく、「あるもの探し」をテーマにオンラインワンの但馬を目指して、地域資源の掘り起こしやキャンペーン活動を展開。但馬の住民が主人公となるこのプロジェクトには、但馬人の熱い思いと行動力が必要不可欠です!このコーナーでは、但馬を盛り上げる“キラリと光る但馬人”を紹介していきます。



季節の美しい風景や祭り、隠れた但馬のスポットを情報発信している。特派員ならではの機動力を活かした情報が魅力!!



ホームページ「但馬情報特急」のコーナー( http://www.tajima.or.jp/ )「但馬ふるさと特派員だより」を通じて情報を発信。「特派員だより」ではメンバーが取材したブログの他に、取材マップを掲載して、欲しい情報が簡単に閲覧することができる。但馬一円の情報がアップされている。とがうれしいと話す。

vol.2 [ 但馬ふるさと特派員 ]

●気軽に情報発信!! 特派員を募集しています!!

【募集要件】

- \*パソコン・デジタルカメラがあり、インターネットにつながる環境があること
- \*月に2~3回以上、但馬情報特急にブログ投稿できる方
- \*年4回の例会に参加できる方



◎興味のある方は、「ふるさとづくり協会」まで

(問) (公財) 但馬ふるさとづくり協会

[所] 豊岡市山王町 11-28 TEL.0796-24-2247

\*特派員ブログ <http://www.tajima.or.jp/modules/furusato/>



ホームページ「但馬情報特急」のコーナー( http://www.tajima.or.jp/ )「但馬ふるさと特派員だより」を通じて情報を発信。「特派員だより」ではメンバーが取材したブログの他に、取材マップを掲載して、欲しい情報が簡単に閲覧することができる。但馬一円の情報がアップされている。

但馬情報特急 検索

「愉快な但馬」をテーマに情報発信!

「若い人にも入ってもらい、一緒に但馬を元気にできたら」と、メンバーの皆さん。今後は「但馬理想の都の祭典20周年」に向けて、特派員にしかできない情報発信をして盛り上げていきたいと話してくれた。例会では山陰海岸ジオパークなどテーマに沿って、連載形式で投稿してはといった意見が出されるなど議論は白熱。隠れた但馬の魅力をどんどん発信してほしい。

「インターネットを使って、気軽に但馬ライフを歩もう」をコンセプトに、但馬の多彩な話題について情報発信している「但馬ふるさと特派員」。但馬ふるさとづくり協会が運営するホームページ「但馬情報特急」を通じて、平成18年元旦からブログを発信し続けている。始まりは「但馬ふるさとづくり大学」のゼミがきっかけ。インターネットを使った「但馬放送局」を創り、快適・便利・愉快な但馬を情報発信するということが目的だった。最初は半信半疑だったメンバーだが、投稿を重ねていくうちに、情報発信することの楽しさに魅せられていった。「この活動を通じて、『但馬ってええところやんか』と改めて認識するようになりました。都市部との交流が増えて、自分たちの地域を見直すきっかけとなれば最高ですね」と、リーダーの中谷さんは話す。現在、メンバーは12名。自宅にインターネットやメールを受信できる環境があれば、誰でも参加はOK!年4回、但馬の勉強を兼ねた例会を開催する他は、すべてメールでやり取りをしている。お互いの経歴なども知らないのが、気兼ねなく自由に活動できることが魅力だ。

～共に生きる  
この街を元気に～

但馬信用金庫

本店 / 豊岡市中央町 17-8 TEL0796 (23) 1200



特別天然記念物 コウノトリ

<http://www.tanshin.co.jp/>